

外国人の就職支援

日本語講座始まる

朝日 豊田市国際交流協会

「派遣切り」などで職を失った外国人市民の就職活動を支援する緊急日本語講座が10日、豊田市小坂本町1丁目の市国際交流協会ではじまった。面接などに役立つ実践的な日本語を学ぶのが狙いだ。

講座は今月と来月に10回ずつ開く。当初はそれぞれ80人を募集したが、受講希望が予

想以上に多く、1000人ずつに拡大した。すでに3月の講座もほとんど埋まっており、同協会は「就職活動には、ある程度の日本語能力が必要だと実感している外国人が多いようだ」と話している。

今月の講座には、ブラジル国籍に加え、ペルー、タイ、中国、コロンビア、ドミニカ共和国の各国籍の市民が参加。日本語の能力に合わせ、入門クラスと初級クラスの違いかを選択した。(黄徹)

記事情報

朝日新聞 2009年2月11日（水）朝刊

*この記事は朝日新聞社の許諾を得て転載しています。